

キャリアの積み重ね方は千差万別ですが、大きく分けて2パターンあると思います。一つは人生

女性管理職が語る

キャリア目標がなくても

ず、その後の10年間も目の前の仕事に無我夢中に取り組むのが精いっぱいでした。「将来どうなり

たい」と聞かれることもプレッシャーに感じていたように思います。

入社当時、「『なりた
い自分』を描いてみよう」というキャリア研修がありました。長期ビジョンを描くことで今何をすべきかが見えてくる、というのが目的だったと思います。しかし当時の私は「なりた
い自分」をつま
り、目標達成の可能性を上げることができません。

本部 統括営業 P&G
ディレクター シニア

景山 由香氏



かげやま・ゆか 2004年入社。小売店営業や本社営業企画など営業部門でキャリアを重ねる。シンガポール勤務を経て20年よりフアブリック&ホームケア事業部の営業責任者。

その一方で、私のように
にビジョンを描くことに
難しさを感じている人が
いるとすれば、流れに身
を任せることで新たなチ
ャンスがあることも、お
伝えしたいと思います。

入社10年くらいの頃、
管理職になりたいか聞か
れ、「いつかはやってみた
いが今はできません」と
答えました。当時の日本
安全域に留まることは楽
かも出来ないが、それは
自信になった一方で、新
先に新しい景色が広がっ
ているはずだ。

いもしなかった職務に充
実感を持ち取り組んでい
ます。でもこれは節目ご
とに背中を押してくれる
人が現れ、その都度自分
にとって最善と思う選択
をしながら流れに身を委
ねてきたからなのです。
そんな私に「どの能力
に自信が持てないのかを
明確にして実力を付けられ
ばいい」「会社ができる
と信じて任せるのだから
挑戦すべきだ」と背中を
押してくれた上司や先輩
がいて、管理職を目指す
ようになったのです。
今までの経験と努力が
自信になった一方で、新
先に新しい景色が広がっ
ているはずだ。

女性という風潮で、女
性の立場に就いても期待に
応えられないのではと、
不安な気持ちが強かった
のだと思います。
実際、管理職に就くと、
自分の成功より組織の成
功を優先すべき管理職と
いう立場は、人生に目標
を持つことが難しかった
私にとっても向いていまし
た。組織にとって正しい
方向性を考えると自然と
決断ができ、どんなリー
ダーになりたいかという
視点を持つと、おのずと
ほしいと思います。きつ
かけは外的要因でも、そ
の自分の決断に責任を持
って努力をすれば、その

今まで努力を積み重ねて
きた自分の人生を否定し
てしまうことにもなるの
ではとも考えました。
信と謙虚のバランスを取
りながら努力をし続ける
ことで、その未熟さを解
決していくのだと今では
考えています。